

## インカ時代における灌漑に関する 農業用語について

亀 田 隆 之

### I

1984年に Margot Beyersdorff による『ケチュア農牧用語辞典』（“Léxico Agropecuario Quechua”）が公刊された<sup>(1)</sup>。129頁の小冊子であるが、題名が語るように農業及び牧畜に関係のあるケチュア語を採録したものであり、一つ一つの語にスペイン語でいねいな訳語が記されている。全部で512語を収め、同義語も併記するが、それとともに1608年に発行の Diego González Holguín のケチュア語の辞書<sup>(2)</sup>及び1945年刊の Jorge A. Lira の同種の辞書<sup>(3)</sup>を参照し、対応語の個所に収めるなど細かい配慮もなされている。そしてその中に灌漑関係の語も20余り見出すことができるのである。

この辞書の編纂は、序文によると、スペイン語が日常の言葉として通用していない地域において、スペイン語のみを話す人たちに、農牧関係のケチュア語の手引とすることを目的として編まれたとのことであるが、そうした目的とは別に、この灌漑関係の用語を通して、インカ時代の灌漑をめぐる農作業の一端を知ることができるのではないかと思う。というのは、ケチュア語がインカ時代の公用語であったことを考えるとき、これらの語の背景に（実体のないところにそれを表現する言葉の存在が考えられないのは明らかであろう）、当時の灌漑をめぐる農作業の状況が存在すると見られるからである。

ただそう考えると、次のいくつかの疑問が当然提出されるであろう。そこで

あらかじめそれに答えておきたいと思う。

第1に, Beyersdorff の辞書に収録されたケチュア語は, すべて Cuzco 県内, その中でも とくに (1)Canchis 郡の Combapata 及び Sicuani 付近の Comunidad (現在の農村における一種の農業協同団体), (2)Calca 郡とりわけ郡内の Amaru, Paru Paru, Sacaca, Kuyu Grande の 4 Comunidad, (3)Canas 郡及び Espinar 郡の範囲にとどまる。ただし, Luis Beltrán による Chumbivilcas 郡及び Paruro 郡での調査の結果を参考にしているとある (上記の地名については別掲地図参照)。これに従えば, Cuzco 県内の限られた地域にとどまり, しかも現在の農村での用語であるところから, これをそのままインカ時代に投影してよいのかという疑問が生ずる。

第2に, スペインの侵入以後スペイン語はインディオの生活の中に入りこみ, そのためケチュア語にその影響が現われ, ケチュア語化したスペイン語が農牧関係の語にも見られるに至った。Beyersdorff も15語ほどを収録している。とすれば, そうした語からただちにインカ時代の農業行為を云々するのは, 危険ではないかとの疑問が出される。

また第3に, 上述のように Beyersdorff 収録の語が Cuzco 付近に限られることを思うとき, ケチュア語の, 地域による表現の違いの存在と併せて, 他地域における同内容を示す語は収録語と異なるであろうと思われ, そう考えられるならば, この辞書の収録語の背景に存在する実態も, 限られたものととどまるのではないかとの疑問が持たれる。

この他にもなお疑問が存在するであろうが, 主要なものはこの3点にしばられると思う。以下これらに対し答えておきたい。

まず第1の疑問に答えよう。この辞書を見るととき Beyersdorff は既述のように Holguín の辞書に配慮を向け, 同一の語がそれに見られる場合はその語を収録並記している。それらの (Holguín が自らの辞書に収めた) 語は, すでにインカ時代に使用されていた語と見て誤りないであろうし, その語の背景に実体が存在していたと見てよいと思われるのである。

ただほんらい同一の語であるにも拘らず、Holguín の解釈説明と Beyersdorff のそれとの間に、内容について違いのある場合は注意する必要があるだろう。例えば、Beyersdorff は“Miska”の語について、灌漑を行ない早生種の作物の種まきをすること、と説明するのに対し、Holguín はほぼ同一の綴りを持ちほんらい同一の語と見られる“Michka”の語について、トウモロコシをはじめとする早生種の作物そのものを対象とする解釈を示す（後述参照）。もしこのふたつの解釈の間にある種の変遷が考えられるとすれば、早生種の作物→早生種の作物の種まき→灌漑を行なうことによる早生種の作物の種まき、といった、作物そのものからその作物栽培についての農作業というように、言葉の意味する内容が拡大するに至ったことを示すと考えられるが、その変遷は時代的経過を含むものなのか否か、簡単には決められまい。そこで、そうした場合のあることを承知し、それに対し注意を払いながら考察を試みていきたい<sup>(4)</sup>。

第2のスペイン語に典拠を持つ語であるが、これらの語はたしかにスペイン侵入後に成立した語であり、スペイン人の使用していたものがケチュア語の中に採り入れられたのであろう。ただそうであるからといって、その語が使用されるまで実体が存在しなかったとか、或いはその実体になんの呼称もなかったなどということはできまい。例えばケチュア語として現在使われている“Phayna”は、スペイン語の“faena”に拠るものであり、男手を必要とする労働の意とするが、“faena”の語が入ってくるまで、そうした労働を示すケチュア語が存在しなかったとは考えられないのである。おそらく“faena”より複雑な表現をしていたこと、またスペイン人がインディオの（とくに男子の）労働徴発にさいし、この語を使用したことなどが、“faena”→“Phayna”を定着させたのであろう。

このように考えるとき、スペイン語に典拠を持つ語であっても、それ以前のインディオ社会に存在しなかったことが明らかなものでない限り、用語の背景に存在する実体は考えてよいと思うのである。

そう見るならば（第1の疑問への答えともなるが）、Holguín の辞書には見えないけれども、ケチュア語であることが明らかな語は、現在の農作業を表現する語

ではあるが、それと同一の事情をインカ時代にまで遡らせても無理ではないと考えられる。農作業の習慣は、機械の導入などによる規模の改変や、新しい品種の新しい方法による栽培などのない限り、ほぼ古いままの形態で伝えられていくとは、一般に理解されていることであるが、現在の Cuzco 周辺で行なわれている農作業の一部と、Guaman Poma の *crónica* に収められる絵や叙述、また他の *crónica* に叙述された農作業との間に、多くの類似、共通点を見出しうるとき、このことは十分にいえるのではなかろうか。

次に第3の疑問に答えよう。なるほど Beyersdorff の採録した語彙は Cuzco 県内にとどまるものであり、他の地域においても同一の語が使用されているか否か明らかではない。おそらく海岸地帯においては異なった形態の農作業が行なわれ、用語も異なるものがあるであろう。しかし、ここで問題にしているのは Beyersdorff の集めた語の背景に存在する農作業なのである。言語学的に特定の語の分布状況を問題にしているのではなく、また農作業の違いを問題にしているのでもない。限られた地帯ではあっても、インカの時代にその地域にそうした農作業が、また灌漑行為が見られたということを、考察していくことこそが問題なのである。

以上、いくつかの疑問に答える体裁をとりながら、Beyersdorff の辞書に収められている灌漑をめぐる農作業の語の検討が、インカ時代のそうした作業を考察するうえで意味のあることを述べてきた。以下それらの語を訳語とともに掲げ、その後注目される二、三の事柄について考察を行なってみよう。

## II

既述のように Beyersdorff の辞書に収められた灌漑関係の語は20語余りであり、その灌漑も耕地の農作業と関係づけての小規模のものが多く、いまこれを(1)用水溝及びそれに類する用水施設、(2)用水溝の開掘などの灌漑に関する労働及びそれに類する作業、(3)灌漑を前提とする農作業及びそれに類するもの、の3グループに分け列記していこう。なお、Holguín の辞書に見える語を Beyersdorff が引用した

ものも併記しておく。(Holguin をH. と略記する。なおS. は名詞, V. は動詞, E. はスペイン語の略記である。)

(1)

- |                                       |  |
|---------------------------------------|--|
| ④Phusu                                | S. 動物の飼料とする水生植物の成長用に蓄えられた水。  |
| ⑤Tuma (E. Toma)                       | S. 灌漑用水の分配のため, 水を川などの水源から二次的な用水路(小土地に隣接したり, またはそれを横切る)に導くための水門または水口。 |
| ⑥Wachu Wayqo <sup>(6)</sup>           | S. うねの各列に分たれる網細管的な小用水溝。  |
| ⑦Yarqha <sup>(6)</sup> , Hatun Yarqha | S. 主用水路。源を高地の湖沼やまた河川に発する。  |
| <H. Rarca, larca                      | S. 用水路(溝)。>  |

(2)

- |                        |   |
|------------------------|---|
| ⑧Chakay                | S. 浸食を避ける灌漑システムに役立たせるため, 灌漑用水路を不規則にカットする微傾斜の溝を設ける方法(Kunka参照)。 |
| ⑨Hark'achiy Unuqta     | V. 灌漑用として, ある用水溝の水を他の用水溝に流すために, 前者の流れを一時的に塞ぐ。                 |
| <H. Harcapayani unucta | V. 水のある用水溝から他のそれに引く。>   |
| ⑩Huminchu              | S. 最初の種まきのため耕地を整える目的で, 用水溝から水を引き耕地を灌漑すること。                    |

## ㊦Kunka

- S. 耕地の中ほどを真直に或いは斜めに切る溝の組織で、2つの目的に役立つ。  
 (1)雨水を集めて耕地の表土に配水するための、畑の中央部の排水路となり、  
 また(2)用水路に微傾斜で設けられる小溝の方向を定める指標となる(Chakay 参照)。

## ㊧Kunkay

- V. 畑の中に微傾斜で設けられた用水溝を通して排水する。排水を助け浸食を避ける機構(Chakay 参照)。

## ㊨Mallmay (Phaspay, Humin-chasqa)

〈H. Mallmani, Cazmani

- S. 長期間雨のないとき、耕地に施される簡単な灌漑。  
 V. 土を砕いて、すき返された耕地をならす。〉

## ㊩Maway Qarpay

## ㊪Phaspay

- S. 早生の種まきのために行なう灌漑。  
 S. 種まきの前に行なわれる二度目或いは簡単な灌漑。雨が充分に降らず、耕地の湿り気を保つ必要のあるときに行なわれる。

## ㊫Qarpay

〈H. Carpani

## ㊬Tharay

## ㊭Yarqha Phayna (E. faena)

## ㊮Yarqha Urqoy

〈H. Rarcachani

- V. 灌漑する。  
 S. 一時的灌漑。  
 V. 耕地に灌漑する。〉  
 V. 生垣や用水溝の出入口を設ける。  
 S. 主用水路の浄化また修理の労働。種まきの準備のため7月に行なわれる。  
 V. 用水溝を掘開く。  
 用水溝を掘開く。〉

(3)

㊸Maway

S. 早生の種まき。8月に始まる。耕地への配慮また灌漑が有効に施された地域で行なわれる。

〈H. Mahuay o Uripapa

S. 早生のジャガイモ。

S. 全ての期間が3カ月で得られるジャガイモ。〉

㊹Maway Tarpuy

S. 7月15日から8月の初めまでの間になされる早生の種まき。ケチュア地帯<sup>(7)</sup>の小さく区分された耕地になされる。その地には、用水組織を通して灌漑が行なわれている。

㊺Miska

S. 灌漑を行ないその後には早生の種まきをすること。6月の最初に始まる(Maway 参照)。

〈H. Michca

S. すぐに成熟する早生のトウモロコシ。熟れた早生のトウモロコシ。より早く熟れる早生のすべての果物。〉

㊻Muyuy

S. 時期を見はからっての輪作。高地の灌漑のない耕地及び畑地において行なう。

〈H. Muya

S. 野菜畑。庭園。〉

㊼Q'oni Hallp'a

S. 灌漑に依存する作物を栽培するための耕地。

㊽Soqray

V. 日照りや水不足で作物がやせる。また逆に石の多い地に雨が降りすぎて作物がだめになる。また雨が降りすぎ水が

〈H. Sokrani

⑤Soqra Hallp'a

多すぎて作物がだめになる。

V. 水が多すぎてトウモロコシが成育不良になったり、茎が傾いたりする。〉

S. 雨や灌漑による水が多すぎてだめになった耕地。植物は倒れて地面についてしまう。

### III

以上, Beyersdorff の辞書に見られる用語をとりあげたが、ここから引き出されるいくつかの事柄について検討を試みたい。

まず(1)のグループを見ると、用水路の呼称について“Yarqha”と“Wachu”の使いわけが見られることに注意される。前者は普通一般の用水路を指すのに対し、後者は小溝それもたんに狭い或いは小さな溝ではなく、畑のあぜの間を走る小溝を指している。“Yarqha”に対しては“Hatun Yarqha”のように、より大きい溝を示す場合「大きい」を意味する“Hatun”が付されるが、それならば「小さい」或いは「狭い」を意味する“Taska”, “Uchuy”, “Kichki”を付して小溝を表してもよいのにそうせず、わざわざ“Wachu”を用いていること、しかもそれが畑のあぜの間の小溝を指すことは、この語が農作業との関係において成立したもので、“Yarqha”とは異なる性格を持っていることに興味がひかれるのである<sup>9)</sup>。

つぎに(2)のグループを見ると、さまざまな灌漑の方法についてそれぞれ異なった呼称の存在することに注意される。灌漑を行なうという意味の語としては“Qarpay”または“Yarqha Urqoy” (“Urqoy” “Urquy” は「引く」の意であるから、まさに「用水路(の水)を引く」→「灌漑する」の意となる)が一般的と見られるのであるが、この語の他に、耕地の性質またそれとの対応関係における微傾斜を持つ溝の開掘、さらに栽培植物との関係などによって、さまざまな語が見られるのに注意される。すなわち、種まきとの関係における耕地の整備、そ



してそのための引排水と、密接に結びついた用語が窺われるのであって、農民たちには、農作業の中でのそうした灌漑の区別が承知され、それぞれ独立の語として意識されていることが窺われるのである。また“Yarqha Phayna”が、灌漑用水の浄化・修理のための労働を意味することは、灌漑労働の中でそうした労働が中心を占めていることを裏づけるであろうが、それがとくに7月に行なわれる種まきの準備の灌漑労働を意味することは、Cuzco 県内においては、そうした労働は1年のうち7月に行なわれるものとして、彼らの農事暦の中に定着していることを物語るであろう。

ところで“Mallmay”についてであるが、この語の意味が Holguín の引く“Mallmani”とその内容を異にすることは、上に掲げたごとくである。Lira の辞書には“Mallmay”の訳として、「土を平らにする、また土盛りをする行為。まいた種に土をかぶせる。まぐわを使って耕す」と記し<sup>9)</sup>、また Jesus Lara のケチュア語の辞書では「種まきのために耕地をならし整備する。アンデン（階段耕地）を作る」とあって<sup>10)</sup>、Holguín の説明とはほぼ符節を合するのであるが、この点はどう見ればよいのであろうか。Beyersdorff の訳が上掲の内容となっているのは、種まきと耕地の整備とは密接不可分のものであり、またそれには灌漑が深く関わるものであるため、意味するところが拡大されていったとも思われるが、現在のところこれを明らかにする手段を持たないので他日を期したい。

(3)のグループで注目されるのは、これらの用語が種まきの農作業と密接に結びつき、とくに早生種の作物の栽培（主にトウモロコシ）に灌漑が大きく関係していることである。山本紀夫氏によれば、トウモロコシは乾燥に弱いため、降雨量の少ないアンデス西斜面や山間谷間などでは、その栽培のために灌漑が必要であり、Andenes の名で知られる、灌漑を施した階段耕地で栽培されるのが一般的であるとのこと<sup>11)</sup>、Beyersdorff の引く上掲の用語はそのことをよく物語っているといえよう。ただインカの時代においてはトウモロコシは食糧としてよりも、むしろ儀礼、宗教的な色彩の濃い性格を持つ作物であったと見られるが、<sup>12)</sup>それだけにその栽培には他の作物以上に細心の注意が払われ、収穫の万全が期されたであ

ろう。そしてそれ以後において、トウモロコシが食糧として一般化するに至っても、その栽培上の性質と併せ、依然として灌漑が重きをなし、それが Beyersdorff の引く上記の用語の内容に示されているのではあるまいか。

ところで“Miska”の行為は6月の最初に始まるとあるが、この点で Cristobal de Molina el Cuzqueño の crónica の中に、この語に応じるものとして、

Cuay または Chachuarhuay と呼ばれていた6月には、人びとはただ畑への灌漑や、用水路の修理また種まきのために水を引き入れることに従事していた<sup>63</sup>。

との叙述があって、インカの時代から同様の農作業が見られることに注意される。また“Maway Tarpuy, Yarqha Phayna”に対応するものとして、Guaman Poma の crónica の中に

7月……この月に人びとは土地を肥沃にするため、畑その他の耕地に堆肥を運び、水を引き、耕地への灌漑をなし、早生のトウモロコシの種まきをするため、用水路や溜池、沼などの掃除をする、……<sup>64</sup>

との記述のあることに同様な興味が持たれるのである。

Poma の crónica には、この記述以外にもインカ時代の農作業についての記述が見え、とくに1月から12月までの農事暦及びそれに伴う労働などを、絵入りで説明しているが、灌漑を伴う農作業については必ずしも詳細な記述があるわけではない。また、そうした記述の中に見られるケチュア語については、“Mayu (川)”, “Pukyu (泉)”, “Qucha (湖沼)”, “Yaku (水)”などの一般的なものを除くと、次のようなものを見出すにとどまる<sup>65</sup>。

Chakra qarpay yaku wanay killa	水不足による耕地への灌漑。
Ch'iqta	小溝。
Imata tinkuq yakupi armachikuq	水の合流点における儀式的な浄化。
Larq'a	用水路。
Qarpaq sipas comunidadta <sup>66</sup> sapista	共同体の耕地に灌漑する若者。
Quantoq phakcha	泉、水のほとばしり、用水路。

もっとも、Poma の crónica は多くのケチュア語を記しているとはいっても、全体はスペイン語で書かれているため<sup>67</sup>、農作業や灌漑についての記載もスペイ

ン語での叙述の中に見ることはできる。例えば

主だったクラカは、インディオが歩行の不自由な者、片腕のない者、痼疾の者また病弱者であっても、有能で充分その任に堪えられる者であったならば、用水路の公的な番人として灌漑の管理の仕事に従事させた<sup>89</sup>。

との記述はその1例であるが、この例からも知られるように、農作業との関わりあいで叙述は意外に少ないといってよい。そして、管見の及ぶ限りでの、彼以外のクロニスタの叙述に見える灌漑関係記事の大部分は、インカ皇帝の行なった土木工事としての灌漑事業や、インカの人びとの灌漑技術のすばらしさの叙述に終始しているといってよい<sup>90</sup>。

#### IV

Beyersdorff の収録する灌漑関係の語は、大規模な土木工事としての用水作業や灌漑工事を表したものではなく、アンデスの農民の農業生活と密接に結びつく灌漑作業に関する語であり、いわば彼らの生活の中から生み出された言葉であるといえる。それらを見ると、Cuzco 県内の農村に限られるとはいえ、全体を通じて、彼らは自分たちの農作業をとり行なっていくために、実にきめの細かい灌漑作業を行なっていることが知られるのである。そして、その灌漑に関する語がそれぞれ異なる独立語として定着していることは、農作業のうえで灌漑の占める比重が意外に大きいというだけでなく、すでにひとつの伝統・習慣として、その行為が彼らの生活の中に定着していることを物語るのであろう<sup>91</sup>。とするならば、逆にそうした用語に見られるいくつかの灌漑作業が、インカの時代に存在していたと推定して誤りあるまいし、そうした用語の背景に存在する実体を踏まえて、インカの時代の灌漑作業またそれをめぐるさまざまな問題（例えば Ayllu とこれらの灌漑作業との関係など）を具体的に考察していくことも、充分可能となってくるであろう。

文字の存在しなかったインカの時代の研究は、ことを灌漑という小さな問題にしぼっても、多方面、多分野からの追求が必要となってくる。現在の Cuzco 県

内の農村で使用されている ケチュア語の灌漑関係の用語の 検討を通して、それに 接近するという方法も、 そのひとつと考えられたので、 私なりに若干の考察を試 みたわけであるが、 ただその考察の方法または考察の過程に、 多くの過誤や脱漏 が存在すると思う。大方の 御批判を 切望するものである。(1985・10・23)

# 注

- (1) 刊行は Cuzco の「アンデス農村研究協会」(Centro de estudios rurales andinos) “bartolomé de las casas” の手による。
- (2) “Vocabulario de la Lengua general de Todo el Perú llamada Lengua Qquichua o del Inca” (1608) 1952 Lima
- (3) “Diccionario Kkechwa-español” 1945 Tucumán
- (4) なお Guaman Poma の “Nueva Corónica i Buen Gobierno” にはしばしば “Michika” と見え、この語は「早生の」の意味で形容詞的に用いられている。(例えば 1936 Paris p. 1165)
- (5) Guaman Poma ibid. には ch’iqta と見える (後述参照)。
- (6) Guaman Poma ibid. には larq’a と見える (後述参照)。
- (7) 2300～3500 m の山の斜面や山間の盆地地帯をいう。この地帯の特徴として、雨量は年間 250 mm 程度かやや多く、気温は概して低温で霜を見ることもある、などがあげられる。主要栽培植物はトウモロコシ。Huaraz (3100m), Cuzco (3400m), Cajamarca (2740m), Huancayo (3260 m) などの都市はこの地帯に含まれる。(Puiggar Vidal “Geografía del Perú: Las ocho Regiones naturales del Perú” 1946 Lima p. 73 ～88。なお大貫良夫「中央アンデスの環境と文化のプロセス」史境2参照。)
- (8) Beyersdorff の辞書には、「水」を表わす “Yaku”, 「泉」に当る “Pukyu” とか、「湖・沼」を示す “Qucha”, 「地下水路」を示す “Pincha” 或いは “Huirca” などは収録されていない。これらは水に関する一般的用語として、とくに農作業と関係づけるまでもないとして収めなかったのであろう。
- (9) Beyersdorff ibid. p. 60
- (10) “Diccionario Qhëshwa-Castellano, Castellano-Qhëshwa” 1971 La Paz p. 166
- (11) 「中央アンデス高地社会の食糧基盤」(季刊人類学 13-3) p. 86
- (12) 同 上 p. 109
- (13) “Ritos y Fabulas de los Incas” (1572) 1959 Buenos Aires p. 41～42
- (14) “Nueva Corónica i Buen Gobierno” 1936 Paris p. 1149  
 なお Luis Bustios Galvez の現代語訳 (1956 Lima Ⅲ p. 288) を参照した。
- (15) J. Murra 編の Poma の crónica (1980 México) には、巻末に “Glosario Indice

del Quechua de Waman Poma”として Poma の使用したケチュア語が一括収録され、説明が加えられているので、これを参照した。

- (16) スペイン語の “comunidad” のケチュア語化したもの。
- (17) ただ彼のスペイン語は Miguel León-Portilla によれば「ねじまげられたスペイン語」(“un castellano retorcido”) であり、そのため「彼の記録は文法的な誤りに満ち、数えきれないケチュア語そのままの語句や文体さえも持っていて、その結果、難解な読物になっている。」と評されている。(“El Reverso de la Conquista” 1964 México p. 121-122)
- (18) Poma ibid. (1936 Paris) p. 799 (Luis Bustios Galvez ibid. Ⅲ p. 54)
- (19) インカ皇帝の行なった灌漑工事については次の拙稿を参照されたい。  
「インカ帝国における灌漑用水」(人文論究 24-3)  
「アチラーナ (Achirana) 用水の考察」(本位田重美先生定年記念論文集『地域と文化』所収)
- (20) もっともこう述べてくると、そうしたそれぞれ独立した用語が存在するのは、灌漑作業そのものの違いによるのではなく、播種の時期や栽培植物また耕地などの違いによるものと批判が寄せられるかも知れない。そして、灌漑行為そのものにはさして用語の違いはないとの意見が提示されるかも知れない。私も、本文に記したケチュア語の違いの大方が、時期や栽培植物などの違いによるものであることは認める。ただ、私が問題にしているのは、そうした農作業に灌漑用水が密接に結びつき、それがそれぞれの語の内容に含まれているということなのである。そうしたそれぞれ独立した語が、灌漑と無縁な状態ではないこと、その農作業の実態に目を向けるべきであり、そこから灌漑の重要性を指摘できることを主張したいのである。このことを了解されたい。

#### <付記>

本稿は関西学院大学共同研究「アンデス地域文化の研究」における私の分担研究の報告の一部である。研究にさいし種々の便宜をはかって下さった関係機関の方々に深甚の謝意を表する。

——文学部教授——

Cuzco 県図 下線は本文記載の郡及びComunidad名

Calca郡内の 4 Comunidad 所在図（下線はその地名）